

卒論・修論のための

文献探索講座



学術情報センター（附属図書館）
2024.11

目 次

1. はじめに	2
2. 「大学図書館」が提供する資料	3
3. 文献の収集	3
3.1. 参考文献の活用	4
3.2. 雑誌論文の検索(国内論文編)	5
3.2.1. CiNii Research	5
3.2.2. 機関リポジトリ	6
3.2.3. 大宅壮一文庫雑誌記事索引データベース	7
3.3. 雑誌論文の検索(海外論文編)	8
3.3.1. PubMed	8
3.3.2. CAS SciFinder	9
3.3.3. 電子ジャーナル	9
3.4. データベース検索のコツ	10
4. 文献の入手	12
4.1. 図書入手までの基本的な流れ	12
4.2. 雑誌論文入手までの基本的な流れ	13
4.3. 自動書庫資料の申し込み	14
4.4. OPAC 検索のコツ	15
4.5. 本学に所蔵のない資料を探すには	16
4.5.1. CiNii Books	17
4.5.2. 国立国会図書館サーチ	18
4.5.3. 県内図書館蔵書横断検索	19
4.6. 図書館相互利用サービス	20
4.6.1. 現物貸借サービス(図書のみ)	21
4.6.2. 文献複写サービス	22
5. インターネット上の情報源	23
6. 著作権と引用	24
6.1. 引用	24
6.2. 転載	25
6.3. 剽窃	25



1. はじめに

みなさんは、「図書館の天使」という言葉をご存知でしょうか。

共時性（シンクロニシティ）に大きな関心を持っていた作家アーサー・ケストラーは、「図書館の天使」という言葉を作った。調べ物をしていると、必要な情報が、まさにちょうど思い通りに手に入るという幸運に出会うことがある・・・その幸運をもたらす未知の力を示す言葉だ。（グラハム・ハンコック著『神々の指紋（下）』翔泳社，1996，p.254）

卒業論文を書くには、研究テーマを見つけ、情報を探し、文献を手に入れ、文献を整理して、書く、という過程が必要です。先行文献をいかに集めるかは、卒業論文のでき不出来を左右するといっても過言ではありません。

また、学術情報センターには、論文やレポートを書くための図書がたくさんあります。卒業論文は、エッセイや感想文とは違う作法があり、この作法をはじめに頭に入れておくかおかいかで、その後の道の陰しさが変わります。

このセミナーを受講することで、効率よく情報を入手するための基本的な情報リテラシーを身に着けることができます。時には、「図書館の天使」のささやきに耳を貸しながら、楽しく有意義な卒業論文の執筆準備をはじめましょう。



2. 「大学図書館」が提供する資料

「大学図書館」では、さまざまな資料・情報が提供されています。紙媒体資料である図書、雑誌、新聞の他、CD-ROM や DVD などのデジタル資料や、ネットワーク上で利用する資料など、多岐にわたるため、それぞれのメディアに応じた使い方を習得する必要があります。

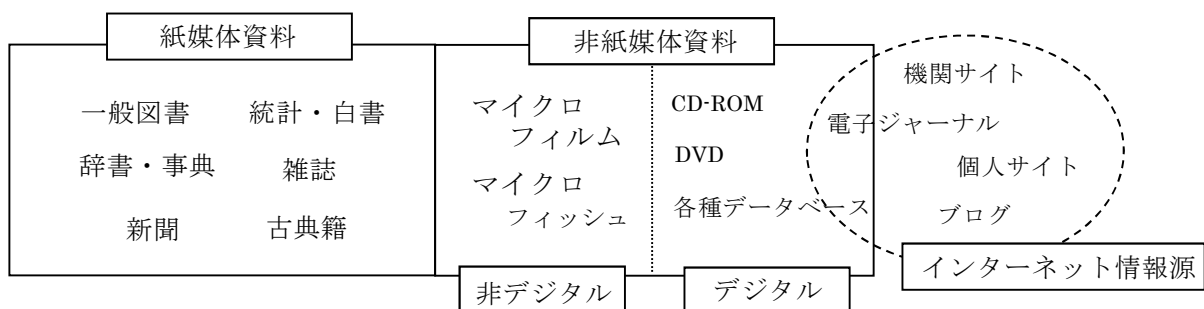


図 1 「大学図書館」が提供する資料



3. 文献の収集

先行文献を収集するには、大きく分けて、下記のようなふたつの方法があります。それぞれの特徴をしっかりと押さえた上で、うまく組み合わせて活用することが大切です。

① 引用・参考文献をたどる方法

図書や雑誌論文の引用文献や参考文献リストを手がかりにして、文献を探していく方法です。テーマに沿った文献の収集ができますが、内容が偏る恐れがあります。また、誤植などによって、目的の文献を探せないこともあります。

② 文献データベースを検索する方法

文献データベースで、論文のタイトルなどから検索する方法です。効率的に文献を探することができますが、どんなデータベースがあるのか、そのデータベースにはどのような特徴があるのかを理解しておく必要があります。

3.1. 参考文献の活用

学術図書や学術雑誌論文には、著者がその論文を執筆する際に引用したり、参考としたりした文献のリストがついています。これは「参考文献」や「引用文献」、「References」等と呼ばれています。このリストの中の文献にも、引用・参考文献が付いており、これらをたどっていくことによって、芋づる式に関連する文献を探し出すことができます。

この方法の利点は、テーマに沿った文献収集ができるということです。また、多くの文献に引用されているものが、その分野での重要な文献という可能性があります。一方で、内容が偏る恐れがあること、誤植や引用の間違い等のために目的の文献が探せないこともありますので、次項で紹介する検索ツールを併用して、網羅的な検索を行う必要があります。

では実際に、引用・参考文献リストの例をみてみましょう。

参考文献

- 1) 上田修一，倉田敬子著『情報の発生と伝達』東京，勁草書房，1992，pp.12-16.
- 2) 田村俊作「英国図書館・情報学教育」情報の科学と技術，40(5)，1990.5，pp.321-329
- 3) P.W.Price and M.D.Hunter “Long-term population dynamics of a sawfly show strong bottom-up effects” J. Anim. Ecol., Vol.74 No.5, 2005, pp.917-925

1) は図書，2) と 3) は雑誌論文の例です。はじめに，図書か雑誌論文か，それ以外かを見極める必要があります。図書と雑誌論文の記述方法は，下記のとおりです。尚，図書や雑誌によって，少し記述方法が異なります。

① 図書の記載例

〔著者名〕 〔書名〕 〔出版地〕 〔出版者〕 〔出版年〕 〔掲載ページ〕

② 雑誌論文の記載例

〔論文著者名〕 〔論文名〕 〔雑誌名〕 〔巻号〕 〔出版年〕 〔掲載ページ〕

また，英文資料については，下記のような省略形が使われます。略誌名から完全な誌名を確認する場合は，以下のようなツールを活用してください。

●CiNii Books(<https://ci.nii.ac.jp/books/>): 詳細検索→タイトル欄に略称を入力・検索

●PubMed(p8 参照) > Journals in NCBI Databases

(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>) : 略称で検索

表 1 省略形の例

ibid.	同じところに，同誌にという意味。“Ibidem”の略。
op. cit.	「前掲書中に」という意味。“Opere citato”の略。
anon.	作者不明のという意味。“anonymous”の略。
in press	掲載巻号，ページなど未決定のもの。
J., Jour.	雑誌。“Journal”の略。
diss.	博士論文という意味。“Dissertation”の略。
proc.	会議録，会報。“Proceedings”の略。
trans.	会報，紀要。“transaction”の略。
rev.	評論誌。“review, reviews”の略。

3.2. 雑誌論文の検索(国内論文編)

文献を収集するもうひとつの方法が、文献データベースを検索する方法です。文献データベースにはさまざまな種類がありますが、ここでは卒業論文を書くために有益な日本語の文献データベースをご紹介します。それぞれの特徴を理解して、うまく使い分けて効率的に情報を収集しましょう。

3.2.1. CiNii Research

学外からでも
利用可能

CiNii Research（サイニィ リサーチ）とは、国立情報学研究所（NII）が提供する国内最大級の学術情報検索サービスです。学協会が発行している学術雑誌や大学等が発行している研究紀要などに掲載されている学術論文を中心に、図書や研究データ、博士論文などの情報をまとめて検索できます。論文検索に焦点をあてると、検索された論文の引用文献（どのような論文を引用しているか、また、どのような論文から引用されているか）の情報や、フルテキスト¹が読めるものもあります²。

フルテキストへアクセスできる可能性がある場合は、下記のようなボタンが論文情報の下に表示されます。（ただし、リンクボタンが表示されても、契約外の電子リソースへのリンクである等、本文を読むことができない場合があります。）

表 2 主なアイコン・ボタンの説明

リンクボタン	解説
	大学・研究機関等が公開しているもので、各機関の紀要や所属している研究者の発表した論文、博士論文等のフルテキストを見ることができる。
	出版者が提供する本文へのリンク。当該論文の表示資格がある場合は本文が表示される。
	1970 年に創刊された日本農学文献記事索引をデータベース化したもの。農林水産関係の学術雑誌約 500 誌に掲載された論文等の書誌情報を収録。
	情報処理学会や日本建築学会など、各学会が発行する学会誌等へのリンク。

CiNii Research にアクセスするには、次のような方法があります。

①奈良女子大学学術情報センターのホームページ³の「資料を探す・使う」内「情報検索」にアクセス > おすすめリンク「CiNii Research」をクリック

②URL を指定する。 <https://cir.nii.ac.jp/>

Access

¹ 「フルテキスト」とは、論文全てのことをいいます。「フルテキストが利用できる」とは、ネットワーク上で論文本文そのものを利用できることを指します。

² 外部データベースで提供されているフルテキストについては、有料のものもあります。

³ 奈良女子大学学術情報センター(附属図書館)のホームページの URL は、以下の通りです。
<https://www.nara-wu.ac.jp/aic/>

3.2.2. 機関リポジトリ

無料で公開

近年、大学などの研究機関の多くで、機関内の研究成果を積極的に発信・公開しています。こうしたものを「機関リポジトリ」といい、紀要（大学などの研究機関が発行した論文集）に掲載された論文や博士論文などを中心に、多数のコンテンツを公開しています。本文を画面上で見ることができるコンテンツも多く、論文を探す際に非常に便利なツールです。

大学等の機関が発行した資料に掲載されている論文を探すときは、まず発行元の機関リポジトリで公開されていないかチェックしましょう。

また、海外の学位論文なども各大学のリポジトリで公開している場合があります。

機関リポジトリに収められている論文を探すには、以下のような方法があります。

①「[CiNii Research](#)」で探す：

奈良女子大学学術情報センターHPの「資料を探す・使う」内「情報検索」にアクセス >
おすすめリンク「[CiNii Research](#)」をクリック

検索結果に「機関リポジトリ」というボタンのついた論文の多くは本文が公開されています。

②「[IRDB](#)」で探す：

奈良女子大学学術情報センターHPの「資料を探す・使う」内「情報検索」にアクセス >
「文系おすすめ」または「理系おすすめ」 > 分野を問わず探す
「学術機関リポジトリデータベース（IRDB）」

「[IRDB](#)」（国立情報学研究所提供）は日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報を横断的に検索できるデータベースです。論文タイトルなどで検索可能。

③Googleなどの検索エンジンで読みたい論文や雑誌のタイトルを”（ダブルクォーテーション）”でくくって検索しても機関リポジトリはヒットします。お試しください。

Access



3.2.3. 大宅壮一文庫雑誌記事索引データベース

学内のみ
利用可能

著名な評論家である大宅壮一が収集した雑誌資料を所蔵する専門図書館「大宅壮一文庫」の雑誌記事索引データベースです。週刊誌，総合誌，女性誌など，一般雑誌に重点がおかれているところに特徴があります。

奈良女子大学では，CD-ROM 版で，1988 年から 2001 年までの雑誌記事を検索することができます。2F 参考図書室内の CD-ROM コーナーにディスクがありますので，CD-ROM 用パソコンでご利用下さい。

明治時代から 1984 年 12 月までの記事を収録した冊子体の目録も，2F 参考図書コーナーにあります。併せてご利用下さい。

「大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録」人名編 1-6，件名編 1-6

「大宅壮一文庫索引目録：人名索引・件名索引・主要雑誌目録・主要件名項目 50 音順索引・創刊号目録」

補足

最近の記事について調べたい場合は，**国立国会図書館関西館・奈良県立図書情報館**でオンラインデータベース（Web OYA-bunko）を利用できます。

大宅壮一文庫の他にも，さまざまなデータベースを利用できます。

⇒ 関西館で利用できる電子資料一覧

<https://www.ndl.go.jp/jp/kansai/database/contents.html>

⇒ オンラインデータベース一覧（奈良県立図書情報館）

<https://www.library.pref.nara.jp/databases>

3.3. 雑誌論文の検索(海外論文編)

ここでは、海外の雑誌論文を探す際に便利なツールをご紹介します。

3.3.1. PubMed

無料で公開

PubMedは、米国国立医学図書館(NLM)内の国立生物工学情報センター(NCBI)が提供するデータベースです。PubMedでは、世界80か国の5300もの医学雑誌等に収録された3700万件もの外国語文献のデータを検索できます(英語以外の文献も英訳されて収録)。無料でどこからでも利用可能なオンラインデータベースです。また、MeSH(Medical Subject Headings)という統制語辞書を搭載しているので、より精度の高い検索をすることができます。

さらに、一部の文献(オープンアクセスのものや本学契約の電子ジャーナルのあるもの)は本文を画面上で読むことができます。

PubMed にアクセスするには、下記のような方法があります。

- ① 奈良女子大学学術情報センターHPの「資料を探す・使う」内「情報検索」にアクセス > おすすりリンク「PubMed」をクリック
- ② URLを指定する。 <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/>

Access

MEDLINE と PubMed

MEDLINE は 1964 年から構築されている医学系データベースです。

MEDLINE に登録される雑誌は専門の委員会による審査を受け、常に見直しをされています。登録された論文には、米国国立医学図書館が作成する統制語辞書 MeSH により MeSH Term が付与され、主題による系統的、網羅的な検索を可能にしています。

PubMed 収録データのうち、一部の論文は MEDLINE には収録されていません。PubMed だけに収録されているデータには次のようなものがあります。

- 冊子体出版前のジャーナル文献(Article in press)
- MeSH(統制語)が付与される前の文献や MEDLINE への登録可否の審査通過前の文献
- 一部の書籍のデータ
- MEDLINE の収録対象外の分野の文献

PubMed は速報性が高く、医学隣接分野にまたがり幅広く検索することができるデータベースと言えます。

MEDLINE は医学分野に特化し、信頼性を高め、カテゴライズしたデータベースと言えます。

3.3.2. CAS SciFinder

学内のみ※
利用可能

CAS SciFinder は、化学および周辺分野の文献・化学物質情報・反応情報を検索できるデータベースです。PubMed 由来の情報を含んでおり、化学分野の方だけでなく、生物や物理、農学・健康科学関連を学ぶ方にも役立ちます。

一部の文献（オープンアクセスのものや本学契約の電子ジャーナルに掲載されているもの）は本文を画面上で読むことができます。

★利用にはユーザー登録が必要です★

学内 LAN につながっているパソコンから、下記のページにアクセスし、ご登録ください。

ユーザー登録について：<https://www.nara-wu.ac.jp/aic/gakunai/SciFinderUser.html>

CAS SciFinder にアクセスするには、下記のような方法があります。

奈良女子大学学術情報センターHP の「資料を探す・使う」内「情報検索」にアクセス
＞おすすめリンク「SciFinder」をクリックし、
ユーザーID・パスワードでログイン

Access

3.3.3. 電子ジャーナル

一部学外から
でも利用可能

EJ（電子ジャーナル）とは

- ・本学が出版社から購入し、各出版社の HP から提供している商用データベース
- ・基本的に学内からのみアクセス可能 ⇒学外からのアクセスについては p11 参照
- ・閲覧可能範囲は契約により、各タイトル・出版社ごとに異なる

電子ジャーナル にアクセスするには、以下のような方法があります。

- ① OPAC で誌名・ISSN 等を検索
- ② 奈良女子大学学術情報センターHP「資料を探す・使う」内
「電子ジャーナル・電子ブック」<https://www.nara-wu.ac.jp/aic/EJEB.html>
契約パッケージ名、タイトルのリンクをクリック

Access

★電子ジャーナル利用上の注意点★

利用する際、下記の行為は契約上禁止されています。

- ・個人の学術研究・教育目的以外での利用
- ・印刷もしくはダウンロードした論文の複製、および再配布
- ・大量ダウンロードおよび一括してのダウンロード（特定雑誌の全号や全記事のダウンロードなど）。特にソフトウェアを利用したダウンロード

違反した場合、大学全体の利用を停止されるなど、学内の全ての利用者に多大な迷惑がかかります。違反しないように注意しましょう。

3.4. データベース検索のコツ

1. 検索のポイント

- ◆百科事典や専門事典であらかじめ専門用語を調べる・外国語データベースの場合は英訳する
- ◆キーワードは、2, 3 語入力
- ◆データベースごとに検索方法は異なる
- ◆利用方法やヘルプを確認

●検索結果が少なすぎる場合

- ・複合語は分けて入力する
- ・同義語や関連語で検索する
- ・上位語（広い概念の言葉）や下位語（より狭義で限定的な言葉）で検索する

●検索結果が多すぎる場合

- ・新たなキーワードを追加して絞り込む
- ・著者名で検索しなおす
- ・発行年で絞り込む

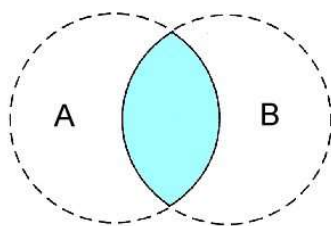
●論理演算

複数のキーワードを組み合わせた論理演算を使うと、より効率的な検索が可能。

但し、データベースによって使用する記号が違うので要注意！

AND 検索(論理積)

2つの検索値の「両方を」含むものを取り出します。複数の概念を単純に組み合わせたり、特定の概念を絞り込んだりするときなどに使います。



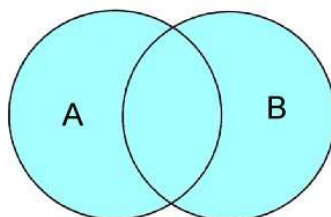
A and B

「A」と「B」両方を含むものを取り出します。

例：子ども and 心理，児童 and 心理

OR 検索(論理和)

2つの検索値の「いずれか」を含むものを取り出します。類義語や同義語を用い、幅広く検索する場合などに使用します。



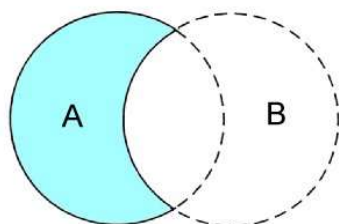
A or B

「A」と「B」どちらか一方でも含むものを取り出します。

例：米国 or アメリカ，国際連合 or 国連

NOT 検索(論理差)

一方の検索値には「含まない」ものを取り出します。特定の概念を除きたい場合などに使用します。



A not B

「A」を含むうち、「B」を含まないものを取り出します。

例：京都 not 東京都，心理学 not 児童

● トランケーション

「*」や「@」などのトランケーション記号を使います。

但し、データベースによって使用する記号が違うので要注意！

本学蔵書
検索 OPAC
の場合

- ・ 前方一致検索の例 特定の文字列で始まる語句を全て検索

例： →

- ・ 完全一致検索の例 特定の語句のみを検索

例： →

※CiNii の場合

例： →

「国文学」「文学者」などは検索されない

2. 学外からの利用方法

データベースや電子ジャーナルは、基本的に学内のみ利用可能です。

一部のデータベースは「学認」という認証システムを使って、奈良女 ID(旧・学術情報センターID)でログインすることで学外からアクセスできるようになります。

アクセス方法は、各サービスにより異なりますので、学術情報センターホームページの「学認によるリモートアクセス」をご確認ください。

<https://www.nara-wu.ac.jp/aic/databases/gakunin.html>

奈良女 ID で学外から利用可能なデータベース(DB)・電子ジャーナル(EJ)

- ・ Japan Knowledge Lib (DB オンライン辞書・事典 ネットアドバンス)
- ・ MathSciNet (DB 数学分野 EBSCO)
- ・ ACS Web Editions (EJ パッケージ ACS)
- ・ ScienceDirect (EJ パッケージ Elsevier)
- ・ Wiley Online Library (EJ パッケージ Wiley)
- ・ Nature (EJ Nature)
- ・ Science (EJ AAAS)
- ・ Ebsco eBook Collection (電子ブック EBSCO)
- ・ Gale eBooks (電子ブック Gale)
- ・ Maruzen e-book Library (電子ブック 丸善)



4. 文献の入手

ここまでは、参考文献リストや CiNii などのデータベースを使って利用したい資料を探し、特定する方法について解説してきました。次に、それをどのように入手すればいいか、ということについて説明します。図書と雑誌論文では、入手方法が少し異なるので注意しましょう。

4.1. 図書入手までの基本的な流れ

①まず、欲しい図書の書誌事項を確認しましょう。

例) 田中和博編『古都の森を守り活かす : モデルフォレスト京都』京都, 京都大学学術出版, 2008

著者(編者)	書名	出版地	出版社
田中和博	『古都の森を守り活かす : モデルフォレスト京都』	京都	京都大学学術出版

出版年

②奈良女子大学蔵書検索 (OPAC) を使って、学内に所蔵がないか調べてみましょう。

資料のタイトルや著者名を検索窓に入れて、検索してみましょう。詳しい情報が分かっている場合は、詳細検索画面も使えます。

所蔵の見方

部局が「学情」以外（文、理など）の場合：

学部の図書室や研究室に置かれています。そちらを直接お訪ねください。

（配置場所名をクリックすると、研究室所蔵資料の利用についての案内が表示されます。わからない場合は、サービスデスクにご相談ください）

部局	配置場所	請求記号	資料ID	状態	返却予定日	予約
学情	和図書	652.162/110	100072910002	貸出中	2021/6/21	0件 予約
文	N棟1F図書室	652.162/108	NW000055832X			0件

図書が貸出中の場合は、「貸出中」と表示されます。貸出中の図書は、「予約」ボタンから予約をすることができます。（要：奈良女 ID ログイン）

部局が「学情」の場合は、直接センターに来て利用してください。「自動書庫」と表示される資料については、取出しの申し込みが必要です。⇒p14 参照

部局が学情以外の資料で所蔵場所が不明な場合は、サービスデスクにお問い合わせください。

センターでは、資料は「請求記号」順に並んでいます。請求記号は、資料の背ラベルに書いてある番号で、資料のおおまかな分野も表しています。資料を探すときは、必ずこの番号を控えて探しましょう。

③本学で所蔵がなかった場合は…

図書の現物や一部のコピーの取り寄せや、所蔵している図書館を直接訪問して利用する方法で、本学にない資料も利用することができます（テキスト p20～22 参照）。

4.2. 雑誌論文入手までの基本的な流れ

次に、雑誌論文の入手方法について解説します。

①論文が載っている雑誌のタイトルと巻号をチェックしましょう。

欲しい論文が、どの雑誌の何巻何号に掲載されているかをまず確認します。

例) 佐々木力「和算の成立」思想, 1138, 2019.2, pp. 103-125

例の論文の場合、『思想』という雑誌の 1138号に掲載されていることになります。

②奈良女子大学蔵書検索 (OPAC) を使って、学内に所蔵がないか調べてみましょう。

次に、その雑誌がどこにあるかを本学の蔵書検索 (OPAC) を使って調べます。

OPAC で所蔵を調べる時は、論文名ではなく雑誌名で検索しましょう！

所蔵の見方

特に巻号の部分に注意しましょう。

No.	部局	配置場所	請求記号	巻号	年月次	購読状況	アラート
0001	学情	新着和雑誌		176-266, 268-269, 273-274, 277, 281, 285, 289, 293-376, 378, 381, 383-386, 388-404, 407-420, 422-424, 428-430, 432-434, 437-632, 664-917, 919-927, 929-1165	1937-2021	受入継続中	申込
0002	学情	自動書庫 出庫		83-175	1929-1936		

部局が「学情」の場合は、直接センターに来て利用してください。

「自動書庫」と表示される資料については、取出しの申し込みが必要です。⇒ p14 参照

部局が学情以外の資料で所蔵場所が不明な場合は、サービスデスクにお問い合わせください。

巻号：雑誌は同じタイトルで何巻にもわたって発行される資料なので、欲しい巻があるのかどうかを確認する必要があります。

「-」はその間の巻号も所蔵していることを表し、欠号がある場合は「,」で区切って表示されます

「受入継続中」となっていれば、今後も新しい号が入ってきます。

③学内に所蔵がなかった場合は…

論文のコピーの取り寄せや、所蔵している図書館を直接訪問して利用する方法など、本学にない資料も利用することができます (テキスト p20～22 参照)。

4.3. 自動書庫資料の申し込み

洋図書・洋雑誌バックナンバー、中国雑誌、奈良女子高等師範学校時代の古い図書・旧版の参考図書などは自動書庫に入っています。利用には出庫の申し込みが必要です。蔵書検索画面から、下記の手順でお申し込みください。

一括所蔵一覧 1件~3件 (全3)

書誌詳細画面

No.	部局	配置場所	請求番号	巻号
0001	学情	自動書庫	117, 118(1-5), 119(1-3, 5-6), 120-207, 208(1-5), 209-236	

このボタンが出たら...

奈良女 ID とパスワードでログイン

利用者IDおよびパスワードを入力してください

利用者ID
パスワード

資料情報
National geographic.
Vol. 116, no. 6 (Dec. 1959)-. -- National Geographic Society, 1959. <ZY00000526>
巻号等 :
年月次 :

依頼者情報
利用者ID :
所属館 :
所属部署 :

出庫内容
1. 出庫資料情報を確認してください。
巻号範囲 : ☒ 116(6-12),117-131
☐ 132-154
☐ 155-176
☐ 177-203
☐ 204-232
対象資料 : Vol.117 No.1
巻号を記入してください。
不明な場合は発行年、ページ等を記入してください。

雑誌の場合、欲しい巻号を含む範囲にチェックを入れ、具体的な巻号等を記入

資料名等を確認し、「決定」をクリック

申込

決定

- * 学内ネットワークにつながった端末から申し込んでください。
- * 受付時間は開館時間~12時まで および 13時から閉館時間の30分前までです。
- * 出納された資料は学術情報センターサービスデスク右手に置いているブックトラックに並びます。出庫した当日中に利用がない場合は翌日に自動書庫に戻しますので、お早めにご来館ください。
- * 貸出・複写等の扱いは通常の資料と同じです。

4. 4. OPAC 検索のコツ

探している図書や雑誌が本学にあるかどうかを調べるには、奈良女子大学蔵書検索(OPAC = Online Public Access Catalog) を検索する必要があります。OPAC には、学術情報センターホームページのトップの「資料を探す・使う」からアクセスできます。また、スマートフォンからも検索できます。



スマートフォンでの
蔵書検索はこちらから



1) タイトルは、「分かち書き」で検索する

タイトルは、「分かち書き」で検索することをお勧めします。

例えば、『変容する世界の家族』という図書を探す場合、

- ・「変容する世界の家族」と入力するのではなく、
- ・「変容△世界△家族」と入力することをお勧めします。

(“△” は、スペースを表します)

2) 便利な前方一致機能を使う

前方一致検索を行うことによって、特定の文字列で始まる語句を全て検索することができます。

派生語や、英語などの単数形・複数形を同時に検索したいときなどに有効です。キーワードの後ろに「*」をつけて検索します。例えば、“child*”で検索すると、“child”, “children”, “childcare”, “childlike”などを一挙に検索することができます。

3) 学情センターにある図書・雑誌だけを探す

蔵書検索システムでは、学術情報センターに所蔵されている図書・雑誌だけでなく、各学部等に所蔵されている図書・雑誌も検索することができます。とりあえず、センターにあるものだけを検索したい場合は、「詳細検索」の検索画面で、「部局」を「学情」に設定して検索してください。センターにある図書や雑誌だけを検索することができます。

4) 蔵書検索システムで検索できないもの

蔵書検索システムは、本学が所蔵する全ての資料（図書・雑誌）を検索できるわけではありません。下記の資料は、蔵書検索システムでは検索することができませんので、ご注意ください。

- ① 1987 年以前に受け入れられた図書の一部
- ② 雑誌論文

4.5. 本学に所蔵のない資料を探すには

学内にない資料を検索するデータベースとして、お勧めするものは下記の通りです。

- 1) CiNii Books（サイニィ ブックス）：全国の大学図書館の所蔵を探す
- 2) 国立国会図書館サーチ（NDL SEARCH）：国立国会図書館および全国の図書館の資料を探す
- 3) 県内図書館蔵書横断検索

奈良女子大学に所蔵されていない資料を利用したい場合、その資料を所蔵している機関を直接訪問し、閲覧や複写を行うことができます。また、図書館相互利用（Inter-Library Loan: ILL）と呼ばれるサービスを使って、奈良女子大学学術情報センターを通じて、他機関が所蔵する図書の貸出やコピーの送付を依頼することもできます。詳しくは p20～22 をご覧ください。

4.5.1. CiNii Books

学外からでも
利用可能

CiNii Books は、国立情報学研究所（NII）が提供する、全国の大学図書館などが所蔵する資料を検索できるデータベースです。目的の資料が近隣の大学図書館等があれば、訪問して利用することもできます⁴。

CiNii Books にアクセスするには、下記のような方法があります。

① 奈良女子大学学術情報センターHP 「資料を探す・使う」内「情報検索」にアクセス
>おすすめリンク「CiNii Books」をクリック

② URL を指定する。 <https://ci.nii.ac.jp/books/>

Access

また、国会図書館でデジタル化した資料についてはデジタルコレクションへのリンクがついており、本文を利用できる可能性があります。



「限定公開」の資料についてはその場で見ることはできませんが、リンクを開いた画面で「図書館送信で閲覧可能」と表示されるものについては学術情報センター内の所定の端末で閲覧可能です。詳しくは p18 へ！

⁴ 訪問利用には事前の照会や紹介状の発行が必要な場合があります。訪問の前に、サービスデスクへご相談ください。

4.5.2. 国立国会図書館サーチ

学外からでも
利用可能

国立国会図書館サーチ(NDL SEARCH)では、国立国会図書館を構成する3館（東京本館、関西館、国際子ども図書館）の各種所蔵資料・利用可能なデジタル資料の検索や国立国会図書館とデータ連携している全国の図書館の所蔵資料を検索することができます。

- ① 奈良女子大学学術情報センターHPの「資料を探す・使う」内「情報検索」をクリック
>「図書・雑誌を探す」>全国で探す「国立国会図書館サーチ」
- ② URLを指定する。 <https://ndlsearch.ndl.go.jp/>

Access

国立国会図書館デジタル化資料を活用しよう

現在、国立国会図書館では資料のデジタル化と公開が進められています。国立国会図書館の館内のみでしか見ることのできない資料もありますが、無料でインターネット公開されているものも多数あります。また、「送信サービスで閲覧可能」の表示があるものについては、学術情報センター検索コーナーの特定のパソコンから閲覧することができ、複写も申し込めます。閲覧はサービスデスクでお手続きください。複写が必要な箇所がある場合は、Webサービスの「文献複写依頼」よりお申込みいただけます。（複写可能な範囲は著作権法で許可されている範囲となります。）

国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/>



送信サービスで
閲覧可能

この表示のある資料は
学情センターで閲覧できます！

「送信サービスで閲覧可能」の資料は、国立国会図書館の登録利用者になるとご自身の端末から閲覧・印刷することもできます。

詳しくは https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html

4.5.3. 県内図書館蔵書横断検索

学外からでも
利用可能

奈良県内の公共図書館・大学図書館・専門図書館の蔵書が一度に検索できます。

資料の利用(貸出・予約など)については各図書館にお問い合わせください。他大学図書館の蔵書を訪問利用される場合は、事前に奈良女子大学学術情報センターのサービスデスクにご相談ください。(→p20 参照)

- ① 奈良女子大学学術情報センターHP の「資料を探す・使う」内「情報検索」
＞「図書・雑誌を探す」＞奈良県内で探す「県内図書館蔵書横断検索」をクリック
- ② URL を指定する。 <https://www.library.pref.nara.jp/cross.html>

Access

県内国立大学図書館を利用してみよう！

奈良女子大学を含む奈良県内の国立大学 3 館は協定を結んでおり、本学の学生・教職員の方は、奈良教育大学図書館、奈良先端科学技術大学院大学附属図書館の利用カード発行(利用者登録)の申請を行うことができます。

利用カードがあれば、各図書館で直接資料を借りることができます。ぜひご活用ください。

(貸出冊数等は図書館によって異なります。また、資料によっては、研究室で所蔵している等の事情で貸出を受けられない場合があります。)

カードの発行を希望される場合は、下記 URL の案内を参照の上、学生証および住所・氏名の確認できる身分証明書を持参して各図書館のカウンターにお申し込みください。

■奈良教育大学図書館

<https://libwww.nara-edu.ac.jp/drupal/ja/node/60>

■奈良先端科学技術大学院大学附属図書館

<https://library.naist.jp/library/guide/visitor/index-j.html>

4.6. 図書館相互利用サービス

図書館相互利用（Inter-Library Loan: ILL）と呼ばれるサービスを使って、奈良女子大学学術情報センターを通じて他機関が所蔵する図書の貸出(現物貸借)やコピーの送付(文献複写)を依頼することができます。現物貸借や文献複写は、ホームページから **奈良女 ID**(旧・学術情報センターID)を使って依頼してください。



奈良女子大学学術情報センターホームページにアクセス

＞トップページ「My Library」内「文献複写依頼」または「現物貸借依頼」をクリック

※蔵書検索(OPAC)の「利用者サービス」からもアクセスできます

Access

資料が到着したらメールでお知らせします。到着のメールが届いたら、カウンター左のボードに貼り出している名札を取って、学生証と一緒にサービスデスクまでお持ちください。

申し込み情報に不備があった場合、資料が手に入らない場合等もメールで連絡しますので、依頼時はこまめにメールを確認してください。

★他大学図書館等の訪問利用を希望する場合は、サービスデスクで直接ご相談ください。照会にある程度時間がかかりますので、ご相談は訪問希望日の少なくとも2～3日前(土日祝を除く)までに。訪問先の大学名や利用希望の資料名等を具体的に伺い、先方と調整の上、必要な手続きを行います。

探している資料がどこの図書館にあるかを調べるには、p17で紹介した CiNii Books をご利用ください。

4.6.1. 現物貸借サービス（図書のみ）

1) 到着までの日数と料金の目安

日数： 通常は数日～1週間程度で到着。

借用できる期間（2週間程度が多い）や利用条件は相手館によって異なる。

料金： 1冊につき1500円から2000円程度（資料の重さや大きさによる）

＊一部手数料がかかる機関もあります。

2) 欲しい資料が学内にないことをOPACで確認の上、お申し込みください。

まず、奈良女子大学の蔵書検索システム（OPAC）で検索してみましょう。学内で所蔵している図書は申し込むことができませんので、事前に確認が必要です。

電子ブックで利用できないかの確認も忘れずに！（p9参照）

学内に所蔵していても、教員利用中など利用できない事情がある場合は、申込画面の備考欄にその旨を記入してお申し込みください。

3) 図書に関するデータはできる限り詳しく記入しましょう。

不正確な情報で申し込むと、確認するのに時間がかかり、到着が遅れてしまいます。

書誌事項が不完全な場合は、データベースなどを使ってあらかじめ確認してから申し込みましょう。例えば、CiNii Books（テキストp17参照）を使うと、タイトルに含まれるキーワード、著者名などから正確な情報を調べることができます。

4) 学生が教員の研究費（公費）で依頼する際は、個人の奈良女 IDではなく、**担当教員に相談の上、教員指定のIDでログインし、備考欄には必ず申込者氏名をご記入ください。**また、**電話番号とメールアドレスを申込者のものに変更**してください。

5) 奈良県立図書情報館にある資料は**無料**で取り寄せ可能（本学学生・教職員のみ）

依頼画面の備考欄に「奈良県立図書情報館に依頼」と記入することで、**送料無料**で**5冊まで**取り寄せできます。（未記入の場合は送料がかかります）

県立図書情報館との搬送便は週一便（原則木曜）のため、**到着までに1週間程度見込んでいただく必要があります。**お急ぎの方は直接借りに行くことをおすすめします。

また、通常、雑誌は取り寄せできませんが、奈良県立図書情報館で所蔵している雑誌（バックナンバー）については取り寄せが可能です。ぜひご利用ください。

※注意点※

貴重書や出版年の古い図書など、資料の状態によっては取り寄せできないことがあります。また、センター外への持ち出しや複写が制限される場合があります。

4.6.2. 文献複写サービス

1) 到着までの日数と料金の目安

日数:数日で到着しますが,相手先によっては1~2週間前後かかることもあります。
複写料金は,1枚あたり30~60円程度(カラーの場合は,70~100円程度)です。通常,10枚くらいであれば600円程度が目安です。速達を希望される場合は,速達料金(郵便の場合は+300~400円程度)が加算されます。

2) 著作権法上,コピーできる範囲が制限されています。

図書や雑誌を丸ごと全部コピーすることはできません。複写できるのは,雑誌の中の論文(最新号を除く)や図書の一部分(半分を超えない範囲)で,調査研究のために,公表された著作物の一部分を一人一部複写する場合に限られます。

3) 欲しい資料が学内にないことをあらかじめ調べておいてください。

まず,奈良女子大学の蔵書検索システム(OPAC)で検索してみましょう。学内で所蔵している資料は申し込むことができませんので,事前に確認が必要です。

電子ジャーナルや電子ブックで利用できないかの確認も忘れずに!(p9参照)

学内に所蔵していても,教員利用中など利用できない事情がある場合は,申込画面の備考欄にその旨を記入してお申し込みください。

4) 文献に関するデータはできる限り詳しく記入してください。

不正確な情報で申し込むと,確認するのに時間がかかり,到着が遅れてしまいます。
正しい書誌事項が分からない時は,CiNii Research(テキストp5参照)など文献データベースで確認して申し込みましょう。サービスデスクでもご案内しますので,お気軽にご相談ください。

5) 学生が教員の研究費(公費)で依頼する際は,個人のIDではなく,担当教員に相談の上,教員指定のIDでログインし,備考欄には必ず申込者氏名をご記入ください。また,電話番号とメールアドレスを申込者のものに変更してください。



5. インターネット上の情報源

インターネット上にはさまざまな有益な情報や貴重な情報、また、文献情報データベースなども多数公開されています。けれども卒業論文を書く上で、安易な利用は怪我のもとです。インターネット上の情報は、下記のようなことに留意する必要があります。

① インターネット上の情報は、玉石混淆であること

インターネットでは、誰もが自由に手軽に情報を発信することができるため、情報の質が保証されていません。中には故意に間違った情報を流しているものもあります。図書や雑誌論文の場合は、編集や査読、校正、出版、流通など、多くの人の手や段階を経ることによってある程度、情報の質が保証されています。けれども、インターネット上の情報の場合、基本的にこうした過程が省略されるため、その情報が正しいかどうか適切であるかどうかは、利用する側の判断に任されることになります。つまり、利用する側の情報リテラシー能力が問われることになるのです。

➤ 対策 ➤ 情報の発信元を確認する、様々な媒体に触れるなどで見る目を養いましょう。

② URL あるいは、情報そのものが不安定であること

インターネットの世界では、昨日までアクセスできた情報に、今日はアクセスできないということは日常的に起こります。URL が変更されてしまっているいわゆる「リンク切れ」の状態でアクセスできないこともありますし、情報そのものがなくなることもあります。

➤ 対策 ➤ 必要なものは、個人利用の範囲でコピーしておきましょう。

③ 検索エンジンで検索できる範囲は限られていること

検索エンジンにキーワードを入れて検索すると、何でも調べられるような気になりますが、実は、検索エンジンで検索できる範囲は極限られたものでしかありません。米国での研究によれば、検索エンジンから巡回・捕捉されない情報の量は、すでに捕捉されている量の数百倍とされています⁵。

➤ 対策 ➤ 検索エンジンに対する正しい知識をもちましょう。

④ 著作権を侵害しないこと

次章でも述べますが、インターネット上の情報源などのデジタル情報は、簡単にコピー＆ペーストできてしまうため、気づかないうちに著作権を侵害する可能性があります。

➤ 対策 ➤ 著作権についての正しい知識を身に付け、正しい引用をマスターしましょう。

⁵ Michael K. Bergman "WHITE PAPER: The Deep Web: Surfacing Hidden Value" Journal of Electronic Publishing, vol. 7, no. 1, 2001 <https://doi.org/10.3998/3336451.0007.104> (参照 2024-10-16)



6. 著作権と引用

卒業論文に関わらず学術論文は、「先人」の研究の上に成り立つものです。先行文献を調べる方法については第3章で述べましたが、できるだけ網羅的に調べるのが大切です。

私が遠くを見ることができたのは、巨人の肩に立つことによってである。

If I have been able to see further, it was only because I stood on the shoulders of giants.

アイザック・ニュートン (Isaac Newton)

ただし、先行文献を論文に使う場合には、大切なルールがあります。このルールを破ると成績はもちろんのこと、社会的にも大きな損失を被ります。特に、剽窃やその他の著作権侵害は絶対に許されるものではありませんので、くれぐれも気をつけましょう。

著作物にはすべて著作権があります⁶。このことをいつも念頭において、論文を執筆することを心がけてください。尚、著作権は図書や雑誌といった印刷媒体に限られるものではなく、インターネット上の情報についても該当しますので、利用の際には注意してください。ここでは引用と転載の違い、剽窃について学びます。

6.1. 引用

先行文献の「引用」ですが、これは著作権法第32条で認められています。

第三十二条 公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ、報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行なわれるものでなければならない。

2 国等の周知目的資料は、説明の材料として新聞紙、雑誌その他の刊行物に転載することができる。ただし、これを禁止する旨の表示がある場合は、この限りでない。

(平十一法二二〇・2項一部改正，平十五法一一九・2項一部改正，
令三・六・二法五十二・2項一部改正)

但し、この場合の「引用」は、一般的に使われている「引用」という言葉より、厳格に使われています。実際には、次の要件を満たしている場合は、著作権者の許諾を得ることなく引用することができます。

① 引用した文章等が、「公表」されたものであること

例えば、図書館に所蔵されている資料でも、何々文庫といった形で未公表の文書や手

⁶ 著作権には、著作人格権と著作権（財産権）があります。複製権、上演権、公衆送信権、展示権などの著作権（財産権）の存続期間は、基本的に著作者の死後70年ですが、公表権、氏名表示権、同一性保持権などの著作人格権はこの限りではありません。

紙が収集されて所蔵されていることがあります。このような場合は公表されているわけではありませので、**著作権者の許可がないと引用することはできません。**

② 自分の文章等が「主」であり、引用される文章が「従」であること

分量的にも内容的にも、自分の文章が「主」である必要があります。あくまでも、自分の説をより明確にしたり、際立たせたりする場合に、引用を行います。

③ 引用した文章等が、本文と明瞭に区分されていること

引用した文章は、「」で括ったり、字体を変えたり、一定の文字数をこえる場合はブロック引用⁷にして、本文（自分の文章）と明確に区分します。

④ 引用した文章等は、修正したり変更したりしないこと

引用した文章そのものに誤字・脱字がある場合や、差別的用語などが含まれている場合でも、勝手に修正したり変更したりせず、その直後に「(マ)」と表記します。

⑤ 引用した文章等の出典を明記していること

引用文献として、必ず引用した文章の出典を明らかにする必要があります。

6.2. 転載

「引用」と混同されやすい言葉に、「転載」という言葉があります。転載とは、「そのまま掲載するという意味で、引用よりもかなり大幅に、例えて言えば、自分の文章よりも、利用する他人の文章の方が分量的に多いような、そういう利用の仕方」⁸です。

著作権法上、著作権者の許諾を得なくても「引用」することができますが、**著作権者の許諾を得なければ「転載」することはできません。**もう一度、6章1節の「引用」に必要とされる要件を確認してください。

6.3. 剽窃

「剽窃」（ひょうせつ）とは、「他人の作品・学説などを自分のものとして発表すること」⁹、いわゆる盗作です。特に、ネットワーク上のデジタル情報は、検索エンジンで手軽に調べられる上、コピー&ペーストで簡単に編集することができます。けれども、剽窃は決して許されることではありません。

学情センターでは、皆さんの卒論・修論作成を応援しています！わからないことが出てきたら、お気軽にご相談ください！！

⁷ ブロック引用とは、「」などを使わずに、各行頭を右に数文字分だけずらす引用の方法です。

⁸ 黒澤節男著『Q&A で学ぶ図書館の著作権基礎知識（第3版）』東京、太田出版、p. 136, 2011

⁹ 松村明編『大辞林（第二版）』東京、三省堂、1995

卒論・修論のための文献探索講座 2024

奈良女子大学学術情報センター(附属図書館)

2024.11



<https://www.nara-wu.ac.jp/aic/>

情報サービス係: service@cc.nara-wu.ac.jp